

6月は「環境月間」！

プラごみ削減キャンペーンを実施します！

プラスチックは、私たちの生活に多くの利便性と恩恵をもたらしている素材であり、今や、なくてはならないものとなりました。一方、海洋へ流出したプラスチックごみが海洋汚染をもたらし、生態系への影響が懸念されることや、燃やすことによる温室効果ガスの発生など、プラスチック対策は世界共通の喫緊の課題となっています。

こうした問題に対し、6月の「環境月間」に合わせて「プラごみ削減キャンペーン」を実施し、小売店と連携した取組等を実施します。

■キャンペーン期間

6月1日(水)～6月30日(木)

■キャンペーンの概要

1 小売店と連携した取組

(1) スーパーマーケット等での店頭啓発を全18区で実施

店内アナウンスや店頭でのPOP掲出、横浜市職員による分別相談等を通じて、プラスチックごみ削減の取組を市民の皆様にお伝えします。

なお、本市と包括連携協定を締結しているイオン株式会社の店舗では、横浜市内の全店舗で実施します。

(2) サイネージやPOPの掲出、店内アナウンスでの呼びかけ

参加店舗：イオン・イオンスタイル、まいばすけっと、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ

(3) お持ち帰り専用かご「マイバスケット」の横浜限定シールの作成

「へら星人 ミーオ」と「ヨコハマ3R夢! マスコット イーオ」をあしらった横浜限定デザインのシールを作成しました。このシールをイオン・イオンスタイルが販売しているマイバスケットに貼付し、利用促進を図ることで、レジ袋の削減につなげます。

販売店舗：市内イオン・イオンスタイル 10店舗



昨年度の店頭啓発の様子



レジ横サイネージ



マイバスケット 横浜限定シール

◇「マイバスケット」とは：

スーパーで購入した商品を、かごに入れたまま持ち帰ることができる「お持ち帰り専用かご」。会計後、レジ袋に商品を詰め替える手間がないほか、レジ袋の削減にも直接つながります。また、バスケットそのものにも、サトウキビを原料としたバイオマス素材を配合し、環境に配慮しています。

2 市庁舎アトリウムでのイベント

(1) 小学生を対象としたイベント（5月23日（月）に記者発表済）

海洋プラスチックごみ問題に関する講演、体験型ワークショップ、企業等の取組を紹介するブースを設置するイベント「楽しく学ぶプラスチック対策『プラスチックごみについて考えよう!』」を開催します。（開催日程:6月18日（土） 場所:市役所1階アトリウム）

(2) 廃棄物やプラスチック問題をテーマとしたアート展示会

（掲出期間:6月10日（金）～18日（土）

場所:横浜市役所 1階市民協働推進センタースペース A・B）

詳細は別添チラシをご覧ください。

(3) 海洋生物や海洋プラスチックごみをテーマとした写真展

（掲出期間:6月17日（金）～30日（木） 場所:市役所1階展示スペース）

3 その他の取組

(1) SNS等を活用した取組

プラスチックごみ削減をテーマとした市民参加型ツイッターキャンペーンを実施します。市民の皆様が取り組むプラスチック対策を「#横浜からプラごみ削減」をつけてツイッターに投稿していただくと、投稿いただいた方の中から抽選でサンリオピューロランドペアチケットやエコグッズが当たります。

実施期間:6月1日（水）～30日（木）

(2) 駅デジタルサイネージの掲出

横浜駅みなみ通路及び市営地下鉄横浜駅サイネージ

掲出期間:6月6日（月）～12日（日）



駅デジタルサイネージ

*

お問合せ先		
資源循環局 3 R 推進課長	津島 邦宏	Tel 045-671-2563

長坂
NAGASAKA

真護
Mago

ECO

meets

ART

2022
06/10

06/18

開場時間

09:00-17:00
※10日のみ15時頃から

三ツ山 一志
MITSUYAMA Kazushi

三ツ山一志《不用の用》2019-2020 (Photo : Ujin Matsuo)

会 場

横浜市市民協働推進センター スペースA・B (横浜市役所1階)
(横浜市中区本町6-50-10)

入場料

無料

お問合せ先

横浜市資源循環局3R推進課

TEL: 045-671-3593 FAX: 045-550-3510

メール: sj-3rsuishin@city.yokohama.jp

横浜市資源循環局では、市民の皆さまにプラスチック問題の現状を伝え、その解決に向けて1人ひとりに求められる行動を知っていただき、ワンウェイプラスチック削減に向けた具体的な行動に移していただくことを目的に、「プラごみ削減キャンペーン」を実施しています。

そのキャンペーンの一環として、廃棄物やプラスチック問題等をテーマにしたアート作品展を企画しました。普段環境問題にあまり関心のない方にもぜひご覧いただきたいです。

長坂 真護

NAGASAKA Mago



MAGO CREATION株式会社 代表取締役美術家

MAGO Art & Study Institute Founder

1984年生まれ。

2009年、自ら経営する会社が倒産し路上の画家に。

2017年6月“世界最大級の電子機器の墓場”と言われるガーナのスラム街“アグボグブロシー”を訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会う。

アートの力を使って、“我々先進国の豊かな生活は、このスラム街の人々の犠牲のもとに成り立っているという真実を先進国に伝えることを決意。

「サステナブル・キャピタリズム」を提唱し、これまでに1000個以上のガスマスクをガーナに届け、2018年にスラム街初の私立学校『MAGO Art And Study』、2019年8月にはミュージアムを設立。以降、抜本的な問題解決を目指すため、現地に廃棄物処理のリサイクル工場建設を目指すほか、環境を汚染しない農業などの事業をスラム街の人々とともに展開すべく土地取得を目指すなど、美術家としての活動とともに精力的に活動している。



三ツ山 一志

MITSUYAMA Kazushi



1953年神奈川県生まれ。1976年東海大学教養学部芸術学科卒業。横浜美術館副館長、横浜市民ギャラリーあざみ野館長、横浜市民ギャラリー館長を歴任し、2019年退職。2019年より黄金町AIRに参加。同年、アートの活動を通して子どもたちの自立心を養う場として「子どもの育ちのためのアートらぼ」を設立。ライフワークとして、造形活動が子どもの心身の発達にどのように生かされるのかについて研究を行っている。黄金町でのAIR参加で見つけた風景を観察し、主に木を素材とした彫刻作品を制作している。

6/18

ワークショップのお知らせ

事前申込不要・無料

場所：横浜市市民協働推進センタースペースA・B（横浜市役所1階）

リサイクルタイルのオブジェ作り

定員：各回10名

- ①10:00～11:00
- ②11:30～12:30
- ③14:00～15:00
- ④15:30～16:30

講師：中村ジュンコ

(モザイクタイルアーティスト)

廃棄されてしまうタイルたちを使って木製のベース（土台）に自由に貼っていくワークショップです！



どうぶつお面をつくろう！

定員：
幼児と保護者50組

色画用紙で好きなどうぶつのお顔を作ります。それをかぶってどうぶつになりましょう！

通りすがり大歓迎！
(時間設定はありません)



講師：三ツ山一志



横浜市市民協働推進センター
スペースA・B（横浜市役所1階）

主催：横浜市資源循環局3R推進課

TEL：045-671-3593

FAX：045-550-3510

メール：sj-3rsuishin@city.yokohama.jp